

住宅改修について

08 Page
ページ

住宅改修
について

私たちは、在宅で療養される方、介護する方の生活環境に合わせて使いやすく、安全に生活できる住宅改修をご提案します。
工事の内容に関しては、現地調査の際に詳しく説明させていただきます。

給付対象となる
住宅改修の種類

- 手すりの取付 ●段差の解消 ●便器の取替え
- 滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更
- 引き戸等への扉の取替え ●その他工事に付帯して必要となる住宅改修

相談・申請の流れ

1

工事内容
の決定

「手すりをつけたい」「段差を解消したい」といった工事を行いたい場合は、住宅改修工事を取り扱う事業者へ相談し、工事内容を決定します。

2

事前申請

内容にご承諾いただき、工事が決定したら「介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修費支給申請書」に見積書、住宅改修の予定の状態がわかる図面、写真と「介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修について必要と認められる理由書」を添付して、保険者の窓口へ申請します。

3

施工

申請が認められると、後日支給決定の通知が届くので、届き次第工事を開始します。

4

代金を
支払う

工事の終了後、施工業者に工事費の全額(10割)を一旦お支払いいただきます。



5

完了届

工事が完了したら、「介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修工事完了届」に住宅改修に要した費用にかかる領収書、工事費内訳書、住宅改修の完成後の状態が確認できる書類(工事箇所の写真)を添付して、再度保険者の窓口へ提出します。

6

給付金
の支給

- お支払いいただいた工事費のうち保険給付分が、後日保険者より指定口座に振り込まれます。(償還払い)
- 支給限度基準額は、要介護度に関係なく、現在居住している住宅で1人につき20万円までです。

※一部地域では異なる場合があります。

「受領委任払い制度」について

住宅改修工事を行う前に、工事費の支給申請を指定業者に委任すると、ご利用者様は、給付の支給対象費用の自己負担額のみをお支払いいただくだけで手続きが完了します。※本制度が利用できない地域もありますので、詳しくはお問い合わせください。

09 Page
ページ

住宅改修事例
HOME RENOVATION

住宅改修事例

私たちは、在宅で療養される方、介護する方の生活環境に合わせて使いやすく、安全に生活できる住宅改修をご提案します。
工事の内容に関しては、現地調査の際に詳しく説明させていただきます。

◎手すりの取付 歩行や昇り降り・立ち座りなどの負担を軽減



玄関ポーチの手すり

玄関ポーチ階段の昇り降りとはポーチ内での移動をサポートします。



玄関の手すり

一連に施工した横手すりで、段差の昇り降りや靴の脱ぎ履き、玄関までの移動をサポートします。



トイレの手すり

L型手すり立ち座りのサポートをします。下地がない場合は補強板を使用します。

他にも
「居室・寝室等」
様々なニーズに対応した
手すりがあります。
まずはお気軽に
ご相談ください!



浴室の手すり

縦手すり浴槽のまたぎをサポート、横手すり浴槽内の移動をサポートします。



階段の手すり

柱がない場所でも補強板を使って、手すりを取付けることができます。

◎段差の解消 昇り降りの負担や、転落・つまづきなどのトラブルを軽減



Before



After

手すり付スロープ

家からの出入口をスロープにし、車いすでの外出が可能になりました。歩行を補助するための手すりも設置しました。



手すり付階段

外出しやすいように手すり付階段を設置しました。



スロープ

つまづきやすい敷居に木製スロープを設置しました。

◎床材の変更 滑りによる、転倒などのトラブルや移動のしにくさを軽減



Before



After

畳 → フローリング

デコボコがなくフラットなフローリングに変えることにより、車いすでの移動が容易になりました。



畳 → 畳

滑りにくく、クッション性のある畳へ変更もできます。耐摩耗性があるので車いすの利用も可能です。汚れにも強く、耐水性もあります。



Before



After

フロアシート → コルクフローリング

コルク製のフロアに変更し、滑りにくく、寒暖差も緩和されました。

その他にも様々な
床素材があります。

「すべりにくい」

「クッション性、衝撃吸収」「遮音性」

「消臭効果」「キズがつきにくい」

お客様のニーズに応じて

ご提案させていただきます。

◎扉の変更



Before



After

開き戸 → 引き戸

開き戸を引き戸にすることで、車いすでの出入りが簡単になりました。

◎便器の取替



Before



After

和式 → 洋式

膝や腰に大きな負担のかかる和式便器を変更しました。

その他にも
様々な扉が
あります



折れ戸



アコーディオン

引き戸等への扉の
取替えを行う事で、
「生活動線の改善」「転倒リスクの軽減」
「スペースの有効活用」
などの効果が期待できます。